



VRを用いた幻肢リハビリテーション Rehabilitation of Phantom Limb Using Virtual Reality

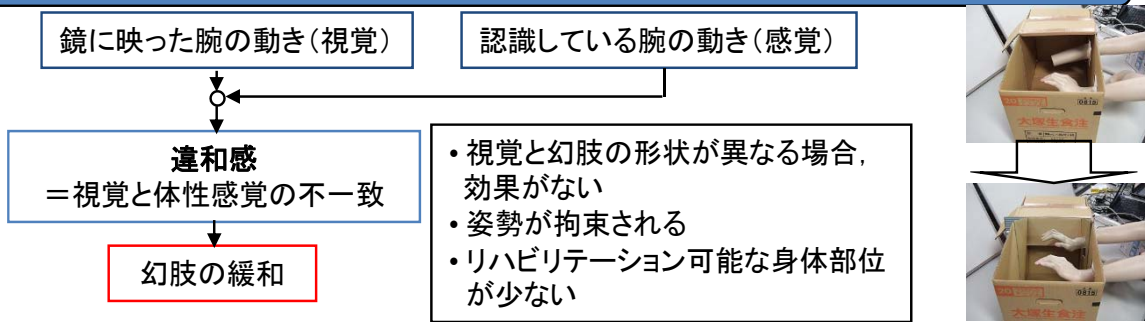
飯田 拓

幻肢

幻肢＝四肢を切断された患者が失われた手足が未だに存在しているように感じる事
幻肢痛という名の激しい痛みや麻痺を生じることがある

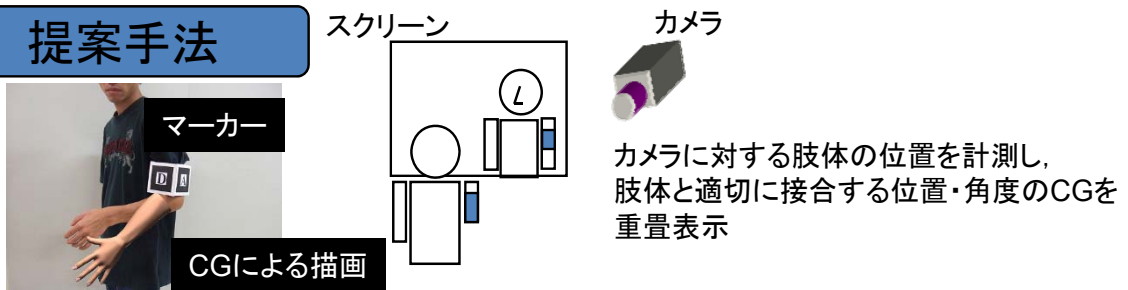
存在しない部位での痛みであるため直接的な治療を行うことができない

ミラーボックス(従来のリハビリテーション手法)



CGを用い、形状変化に対応できる拘束の少ないシステムを構築する

提案手法



立体視不可・時間遅れ・解像度で鏡に劣るディスプレイでも効果はあるのか

CGによる影響の有無についての検討

実験システム



比較項目

- 姿勢(覗き込む・見下ろす)による影響
- 提示手法(鏡・撮影画像・CG)による影響

実験結果

- ディスプレイを用いても違和感を与えることは可能
- 姿勢による影響は大きくない

➡ CGを用いても幻肢のリハビリテーションにおいて効果を与えられると考えられる